

福井市自然史博物館所蔵ムヨウラン属標本の再検討 (ウスキムヨウランについて)

柴田あかり*・榎本 博之**・中山 博史***

Revision of *Lecanorchis* specimens in Fukui City Museum of Natural History

Akari SHIBATA*, Hiroyuki ENOMOTO** and Hiroshi NAKAYAMA***

(要旨) 福井県で2003年に採集されたムヨウラン属の標本について、再検討のために当時の採集地付近で調査観察を行った。当該標本はクロムヨウランと同定されていたが、ウスキムヨウランである可能性が高いことが明らかとなった。

キーワード：ムヨウラン属，ウスキムヨウラン，福井県

ムヨウラン属 *Lecanorchis* はラン科に属する菌従属栄養植物である。福井市自然史博物館にはムヨウラン属のクロムヨウラン *L. nigricans* Honda と記載された標本が4点収蔵されており、いずれも2003年の5月末に蕾や花を付けた状態で採集されていた(図1)。中山が2024年10月に上記の4標本を確認した際、開花時期と形態の特徴からクロムヨウランではないと考えられた。



図1. クロムヨウランと記載のある標本FCMNH_BO_58105 (福井県敦賀市2003年5月29日採集)

クロムヨウランはいくつの変種が知られ、花が開くタイプをトサノクロムヨウラン *L. nigricans* Honda var. *patipetala* Y.Sawa とヤクムヨウラン *L. nigricans* Honda var. *yakusimensis* T.Hashim., 花が開かないタイプをクロムヨウラン *L. nigricans* var. *nigricans* としている (Hashimoto, 1990; Suetsugu et al., 2018)。いずれも7月から8月が開花時期であり、文献内の多くのクロムヨウラン標本がこの時期に採られている (Suetsugu et al., 2018)。

近年、北陸地方ではムヨウラン属のウスキムヨウラン *L. kiusiana* Tuyama とエンシュウムヨウラン *L. suginoana* (Tuyama) Seriz. の新たな自生地が相次いで見つかっている (中野, 2024; 末次, 2024; 早瀬ほか, 2025; 中山, 2025)。2017年7月には榎本が上記標本の自生地付近でウスキムヨウランに似た小型の個体を観察していたが、開花時期を過ぎており同定できずにいた。そこで、2003年に採集されたムヨウラン属標本の正体を明らかにするために、標本が採集された付近の自生地での野外調査と標本の再検討を行った。

2025年6月6日に渡辺定路氏と福井市自然史博物館ボランティアスタッフと共に、福井県敦賀市の林内でムヨウラン属植物を探した。この調査地はクロムヨウランと記載のあった標本4点のうち3点が採集された場所である。調査地はスダジイを優占とする常緑広葉樹林帯であり、落ち葉の上にムヨウラン属植物が30株以上生育していた(図2a)。地上部の高さは約15cmであり、植物体には葉がなく上向きの花が付いていた。花は大きく開いているものではなく半開する程度で、

* 福井市自然史博物館, 〒918-8006 福井県福井市足羽上町147
Fukui City Museum of Natural History, 147 Asuwakami-cho, Fukui city, Fukui 918-8006, Japan

** 福井市自然史博物館友の会, 〒918-8006 福井県福井市足羽上町147
Friends Membership of Fukui City Museum of Natural History, 147 Asuwakami-cho, Fukui city, Fukui 918-8006, Japan

*** 石川県絶滅危惧植物調査会, 〒920-8062 石川県金沢市新保本2-14-1
Ishikawa Organization of Monitoring the Threatened Plants, 2-14-1 Shinbohon, Kanazawa, Ishikawa 920-0862, Japan.

唇弁の白い舌が反り返って出ており、白い舌には紫色の毛のようなものが生えていた（図2b）。昨年の果実の跡も残っていた（図2c）。

今回調査した対象植物について、これまでに北陸で記録のあるムヨウラン属3種、ウスキムヨウラン、エンシュウムヨウラン、ホクリクムヨウラン *L. japonica* Bl. var. *hokurikuensis* Hashimoto と比較検討を行った。ホクリクムヨウランは地上部の高さが30–40cmであり花は下を向くことから（芹沢, 2005；中山, 2025）、対象植物はホクリクムヨウランではないといえる。ウスキムヨウランとエンシュウムヨウランは地上部の高さが20cm前後であり、ウスキムヨウランは花卉から紫色の毛が生えた白い舌がせり出す、エンシュウムヨウランの唇弁の舌はあまり反り返らず黄色い短毛をもつという特徴をもつ（芹沢, 2005；世羅ほか, 2023；中山, 2025）。これらの特徴から対象植物はウスキムヨウランと特定した。採集した標本は福井市自然史博物館の標本庫に収蔵した。さらに、2025年6月8日に榎本が上記のウスキムヨウラン自生地以外の敦賀市3カ所、美浜町1カ所を調査したが、ウスキムヨウランを確認することはできなかった。

福井市自然史博物館所蔵のクロムヨウランと記載のある標本のうち、開花間近と開花途中である2標本（FCMNH_BO_58104, 58105）の地上部の高さは15cmと17cmであり、つぼみはいずれも上向きに付いていた（図1）。植物高と花のつき方から、これら2標本は自生地で調査した対象植物と同じくウスキムヨウランである可能性が高い。福井県では2024年にウスキムヨウランが初めて発見されたとの報告があるが（末次ほか, 2024）、少なくとも2003年にはウスキムヨウラ

ンが福井県敦賀市に分布していたと考えられる。

地域の財産である自然史博物館等が収蔵する標本を丹念に再調査することは意義深く、各県の研究機関、専門家やボランティアスタッフの情報共有と研究連携は、新たな知見を得るために重要であると考えられる。

謝辞

野外調査をサポートしていただいた渡辺定路氏と福井市自然史博物館ボランティアスタッフに御礼申し上げます。

引用文献

- Hashimoto, T., 1990, A taxonomic review of the Japanese *Lecanorchis* (Orchidaceae). *Ann. Tsukuba Bot. Gard.*, **9**, 1–40
- 早瀬祐也・若杉美仁・石澤岩央, 2025, 富山県新産のエンシュウムヨウラン. 富山県中央植物園研究報告, (30), 37–43.
- 中野真理子, 2024, 新規標本に基づく石川県新産のエンシュウムヨウラン, ウスギムヨウラン, イナヒロハテンナンショウについて. 石川県立自然史資料館研究報告, (12), 45–46.
- 中山博史, 2025, ウスキムヨウラン, エンシュウムヨウランの石川県新産地と生態的特徴. 石川県立自然史資料館研究報告, (13), 57–65.
- 世羅徹哉・藤富信之・大沼みお・末次健司, 2023, ウスキムヨウラン（ラン科）を広島県に記録する. 植物地理・分類研究, **71**(1), 57–60.
- 芹沢俊介, 2005, 愛知県のムヨウラン類. 分類, **5**(1), 33–38.

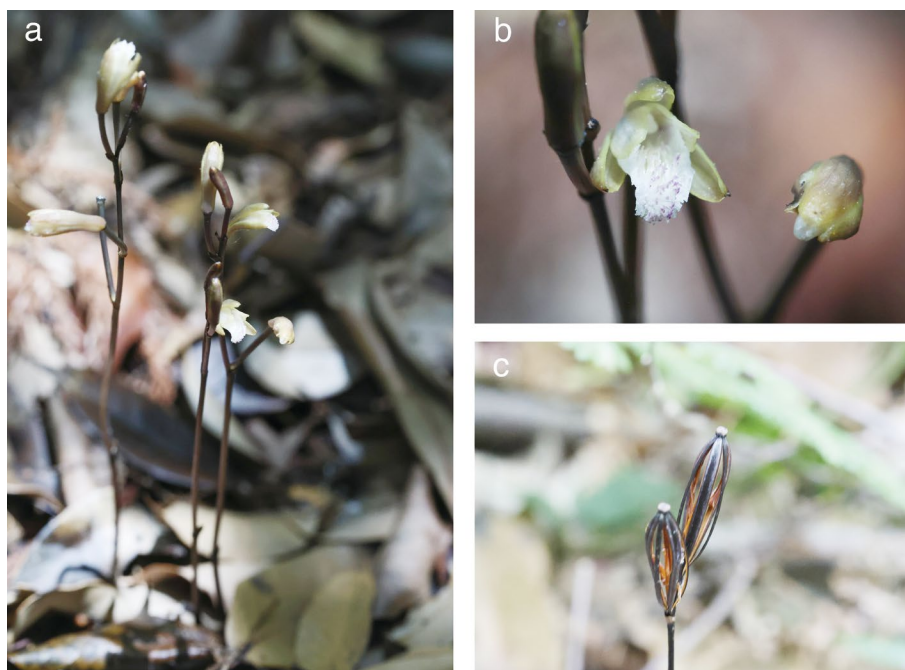


図2. 調査対象のムヨウラン属植物（福井県敦賀市2025年6月6日撮影）。開花个体(a), 花(b), 果実の跡(c)。

Suetsugu, K., Shimaoka, C., Fukunaga, H., Sawa, S.,
2018, The taxonomic identity of three varieties
of *Lecanorchis nigricans* (Vanilleae, Vanilloideae,
Orchidaceae) in Japan. *PhytoKeys*, **92**, 17–35.

末次健司・塚田陸夫・光田重幸, 2024, ウスキムヨウ
ラン（ラン科）を福井県に記録する. 植物地理・分
類研究, **72**(2), 167–170.

**Revision of *Lecanorchis* specimens in Fukui City
Museum of Natural History**

Akari SHIBATA, Hiroyuki ENOMOTO and Hiroshi
NAKAYAMA

Abstract

A field survey was conducted at the site where
Lecanorchis specimens were collected in Fukui
prefecture in 2003, in order to re-examine the
specimens. Although the specimens had previously
been identified as *L. nigricans* Honda, this study
revised them as *L. kiusiana* Tuyama.

Keywords

Fukui, *Lecanorchis*, *Lecanorchis kiusiana* Tuyama

